Panasonic

2016年度 第2四半期
決算概要

2016年 10月31日
パナソニック株式会社

本日の内容

1. 発表のポイント
2. 2016年度 第2四半期　決算概要
3. 2016年度 年間業績見通し

Copyright (C) 2016 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

発表のポイント

2Q実績

- 売上高は、実質ベースでは前年並も、為替影響が大きく響き減収
- 営業利益は、為替や固定費増、前年度特需の反動等により減益

年間見通し

- 足元の為替や市況等を踏まえ、年間見通しを下方修正
- 期末配当は10円を下限、年間配当は20円以上

本日の内容

1. 発表のポイント
2. 2016年度 第2四半期 決算概要
3. 2016年度 年間業績見通し

Copyright (C) 2016 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

2016年度 第2四半期 連結業績

（億円）

	IFRS（非監査）				米国会計基準			
	16年度2Q	15年度2Q	前年比	／ 差	16年度2Q	15年度2Q	前年比	／ 差
売上高	17,650	19,174	92% (101%)*1	▲1,524	17,470	19,026	92% (100%)*1	▲1,556
調整後営業利益 *2	872	1,298	67%	▲426	－	－	－	－
その他の損益	191	▲226	－	＋417	－	－	－	－
営業利益	1,063	1,072	99%	▲9	777	1,239	63%	▲462
営業外損益	2	▲53	－	＋55	167	▲325	－	＋492
税引前利益	1,065	1,019	105%	＋46	944	914	103%	＋30
親会社の所有者に帰属する当期純利益	1,043	546	191%	＋497	*3 982	*3 518	189%	＋464
フリーキャッシュフロー	▲640	▲391			▲609	▲370		

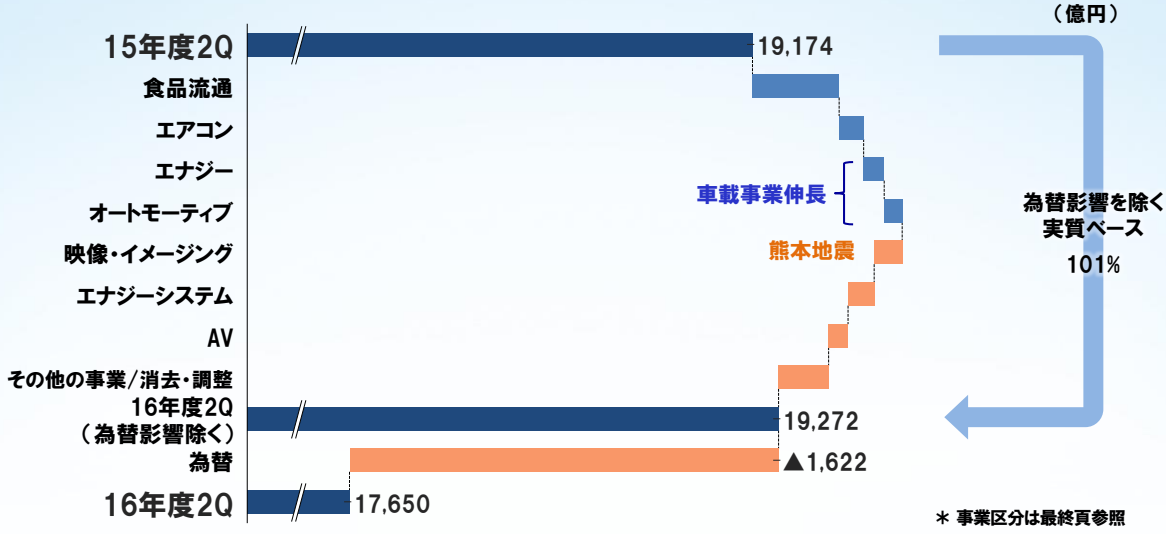
為替レート		
1USドル	102円	122円
1ユーロ	114円	136円
1人民元	15.4円	19.3円

＊1 為替の影響を除いた実質ベース（非監査）
＊2 IFRSにおいて、売上高から、売上原価と、販売費及び一般管理費を控除して算出した指標
＊3 当社株主に帰属する当期純利益

Panasonic

事業別 売上高増減

IFRS



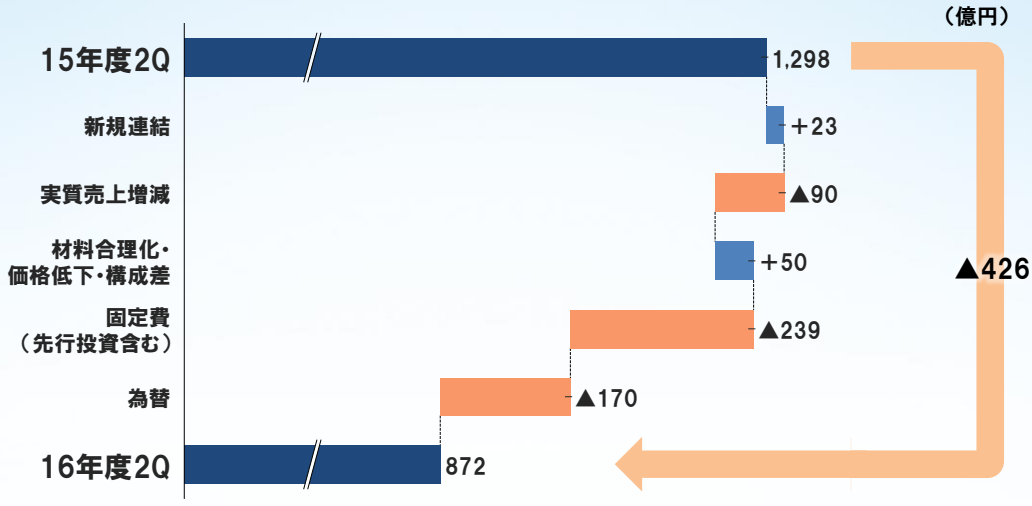
＊ 事業区分は最終頁参照

Panasonic

Copyright (C) 2016 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

調整後営業利益増減分析

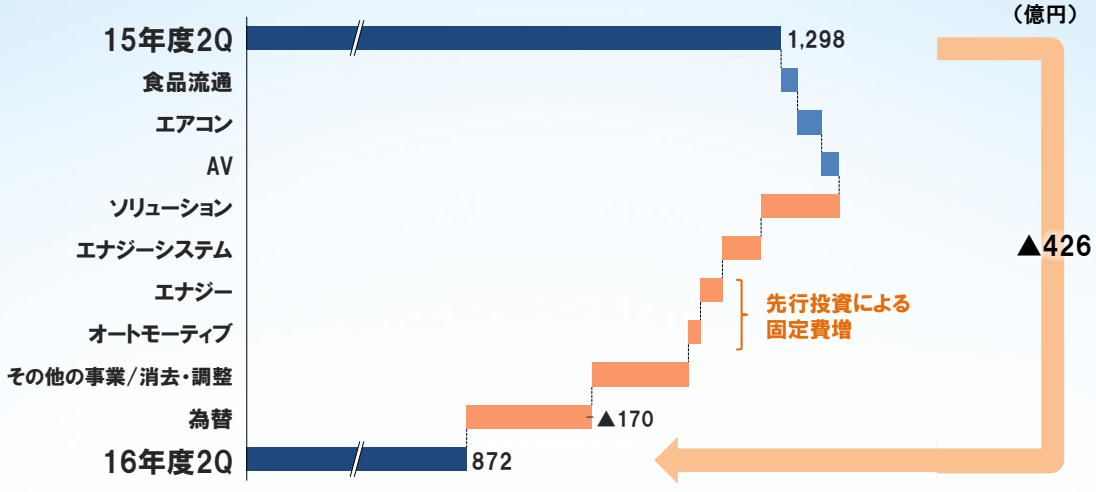
IFRS



Panasonic

事業別 調整後営業利益増減

IFRS



＊ 事業区分は最終頁参照

Panasonic

Copyright (C) 2016 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

営業利益・当期純利益

（億円）

	IFRS（非監査）		米国会計基準	
	16年度2Q	前年差	16年度2Q	前年差
調整後営業利益	872	▲426	－	－
その他の損益	191	＋417	－	－
営業利益	1,063	▲9	777	▲462
営業外損益	2	＋55	167	＋492
税引前利益	1,065	＋46	944	+30
法人税等	▲42	▲439	＊1 ▲90	＊1 ▲422
当期純利益	1,107	＋485	1,034	＋452
非支配持分に帰属する当期純利益	64	▲12	52	▲12
親会社の所有者に帰属する当期純利益	1,043	＋497	＊2 982	＋464

＊1 持分法による投資損益を含む
＊2 当社株主に帰属する当期純利益

セグメント別実績

IFRS

（億円）

	2016年度2Q							
	売上高	前年差	調整後営業利益	前年差	その他の損益	前年差	セグメント利益	前年差
アプライアンス	5,688	▲25	275	＋54	▲4	＋46	271	＋100
エコソリューションズ	3,757	▲212	170	▲67	▲11	▲12	159	▲79
AVCネットワークス	2,425	▲580	139	▲138	▲11	▲15	128	▲153
オートモーティブ＆インダストリアルシステムズ	6,330	▲570	202	▲221	267	＋316	469	＋95
その他	1,445	▲87	39	▲24	2	▲2	41	▲26
小計	19,645	▲1,474	825	▲396	243	＋333	1,068	▲63
消去・調整	▲1,995	▲50	47	▲30	▲52	＋84	▲5	＋54
連結決算（IFRS）	17,650	▲1,524	872	▲426	191	＋417	1,063	▲9
アプライアンス（製販連結）	6,080	▲67	265	＋63	▲4	＋46	261	＋110

＊ 非監査

Copyright (C) 2016 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

セグメント情報

アプライアンス（製販連結）

IFRS

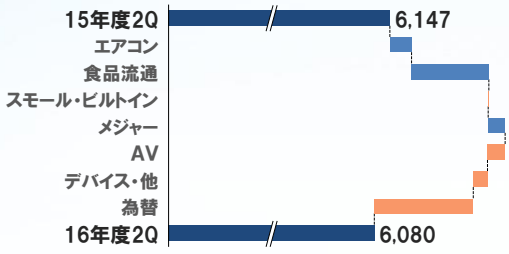
＜概要＞

（億円）

	売上高	調整後営業利益	セグメント利益
16年度2Q	6,080	265 4.4%	261 4.3%
前年比/差	99% *(106%)	+63 +1.1%	+110 +1.8%

＊為替影響を除く実質ベース

＜事業別売上高増減＞



＜売上＞ ＊為替影響を除く実質ベース

エアコン	・日本、アジア、欧州での拡販、中国での販売改善
食品流通	・ハスマン社を連結子会社化
スモール・ビルトイン	・インバウンド需要減が響き、日本市場が苦戦
メジャー	・国内及びアジアで洗濯機、冷蔵庫を中心に堅調に推移
AV	・日本4Kテレビ好調やアジア拡販あるも、欧州販売苦戦で減収

＜セグメント利益＞

主に、新規連結効果、4Kテレビ等高付加価値商品シフトに伴う収益性の改善、白物家電の増販やプレミアム商品の貢献などにより、増益

Panasonic

セグメント情報

エコソリューションズ

IFRS

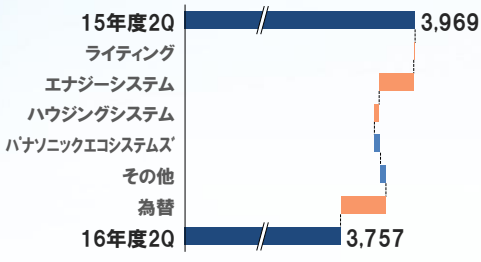
＜概要＞

（億円）

	売上高	調整後営業利益	セグメント利益
16年度2Q	3,757	170 4.5%	159 4.2%
前年比/差	95% *(98%)	▲67 ▲1.5%	▲79 ▲1.8%

＊為替影響を除く実質ベース

＜事業別売上高増減＞



＜売上＞ ＊為替影響を除く実質ベース

ライティング	・光源事業や欧米デバイス事業は減販も国内施設・防災照明が牽引し前年並み
エナジーシステム	・ソーラーの国内市場縮小に伴う減販が大きく影響 ・ソーラー以外の配線器具等は前年並み
ハウジングシステム	・中国市況の低迷継続による減販が影響
パナソニックエコシステムズ	・中国（空気清浄機/熱交換気ユニット/浴室換気乾燥機）、アジア（除湿機）が牽引
その他	・エイジフリー事業、海外エンジニアリング事業が牽引

＜セグメント利益＞

主に、ソーラー販売減により減益

Panasonic

Copyright (C) 2016 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

セグメント情報

AVCネットワークス

IFRS

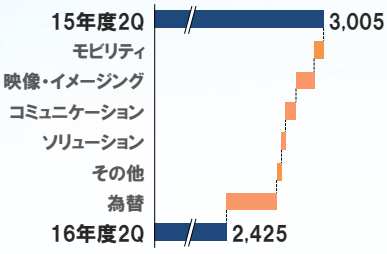
＜概要＞

（億円）

	売上高	調整後営業利益	セグメント利益
16年度2Q	2,425	139 5.7%	128 5.3%
前年比/差	81% ＊(91%)	▲138 ▲3.5%	▲153 ▲4.1%

＊為替影響を除く実質ベース

＜事業別売上高増減＞



＜売上＞ ＊為替影響を除く実質ベース

モビリティ	・ITプロダクツの米国販売体制強化の取組効果による増収があったものの、前年の国内決済端末等大型案件の影響により、減収
映像・イメージング	・ミラーレス一眼や高輝度プロジェクター等の高付加価値商品へのシフトが進むも、震災影響により、減収
コミュニケーション	・固定電話やアナログPBXの市場縮小の影響を受け、海外販売で苦戦
ソリューション	・国内・海外ソリューション事業は着実に成長しているものの、アビオニクス事業の前年度特需の反動を受け、減収

＜セグメント利益＞

主に、ソリューションの前年特需の影響が大きく、その他為替、震災影響等により減益

Panasonic

セグメント情報

オートモーティブ&インダストリアルシステムズ

IFRS

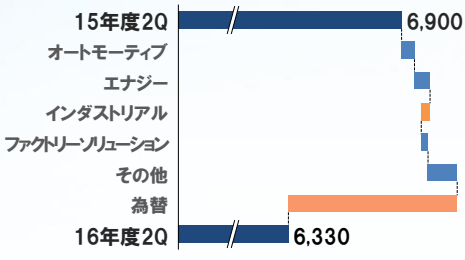
＜概要＞

（億円）

	売上高	調整後営業利益	セグメント利益
16年度2Q	6,330	202 3.2%	469 7.4%
前年比/差	92% ＊(104%)	▲221 ▲2.9%	＋95 ＋2.0%

＊為替影響を除く実質ベース

＜事業別売上高増減＞



＜売上＞ ＊為替影響を除く実質ベース

オートモーティブ	・米国、中国向けディスプレイオーディオが拡大、車載カメラ、スイッチなどが好調
エナジー	・リチウムイオン電池はICT向けが縮小も、車載向けが伸長
インダストリアル	・車載・産業向けデバイスは堅調 ・液晶パネルの事業縮小、不採算事業の終息影響により減収
ファクトリーソリューション	・産業インフラ向け実装機、統合フロアマネジメントシステムが拡大

＜セグメント利益＞

主に、為替影響、車載事業向け先行投資増加による減益があったものの、事業売却益や訴訟関連引当の戻入れにより増益

Panasonic

Copyright (C) 2016 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

大規模6事業部・テレビ事業部

IFRS

（億円）

	2016年度2Q							
	売上高	前年差	調整後営業利益	前年差	その他の損益	前年差	事業部利益 ＊3	前年差
エアコン ＊1	1,091	＋5	49	＋38	▲6	＋3	43	＋41
ライティング	745	▲33	41	▲5	1	＋12	42	＋7
ハウジングシステム	913	▲16	39	▲5	▲12	▲12	27	▲17
インフォテインメントシステム	1,192	▲142	60	▲23	▲1	▲2	59	▲25
二次電池 ＊2	877	▲17	▲57	▲69	143	＋178	86	＋109
パナホーム	930	▲56	42	▲22	0	▲0	42	▲22
テレビ ＊1	710	▲162	17	＋10	1	＋34	18	＋44

＊1：販売部門を含む製販連結
＊2：二次電池事業部＋テスラBU
＊3：「事業部利益」はIFRSの営業利益を表しています。

本日の内容

1. 発表のポイント
2. 2016年度 第2四半期 決算概要
3. 2016年度 年間業績見通し

Copyright (C) 2016 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

2016年度 年間業績見通しの修正

IFRS

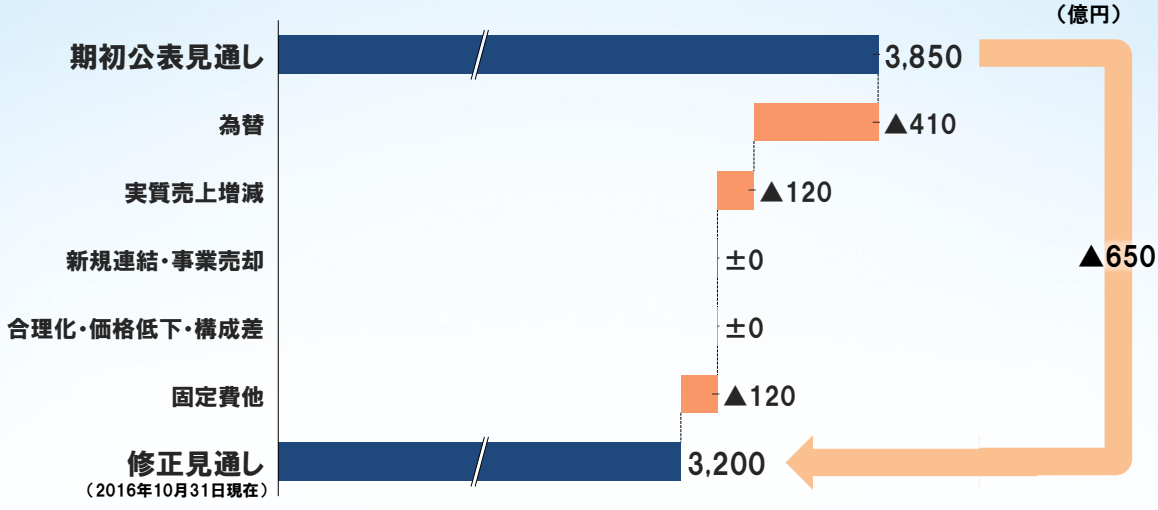
（億円）

	見通し（2016年10月31日時点）	期初公表	修正額	前年実績（非監査）	前年差
売上高	72,000	76,000	▲4,000	76,263	▲4,263
調整後営業利益	3,200	3,850	▲650	4,132	▲932
その他の損益	▲750	▲750	－	▲1,829	＋1,079
営業利益	2,450	3,100	▲650	2,303	＋147
営業外損益	▲50	▲100	＋50	▲20	▲30
税引前利益	2,400	3,000	▲600	2,283	＋117
親会社の所有者に帰属する当期純利益	1,200	1,450	▲250	1,596	▲396
戦略投資を除くフリーキャッシュフロー	1,500以上	1,500以上	－	2,273	－
為替レート　1USドル	103円	115円	▲12円	120円	▲17円
為替レート　1ユーロ	114円	125円	▲11円	133円	▲19円
為替レート　1人民元	15.5円	17.6円	▲2.1円	18.9円	▲3.4円

Panasonic

調整後営業利益 見通しの修正要因

IFRS

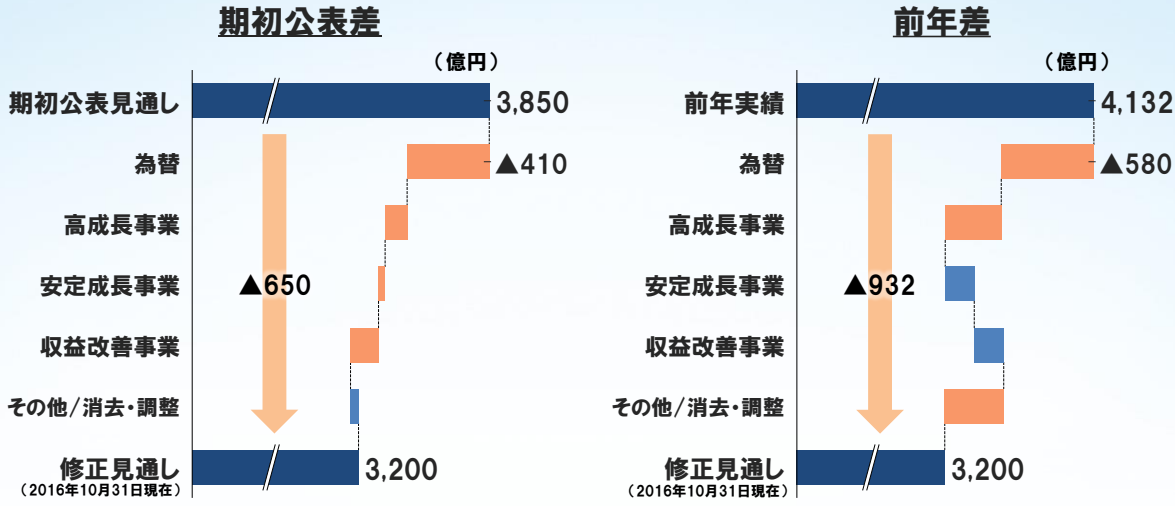


Panasonic

Copyright (C) 2016 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

調整後営業利益 見通しの修正要因

IFRS



Panasonic

セグメント別の見通しの修正

IFRS

（億円）

	2016年度見通し（2016年10月31日時点）							
	売上高	修正額	調整後営業利益	修正額	その他の損益	修正額	営業利益	修正額
アプライアンス	22,800	▲900	1,100	+36	▲70	+24	1,030	+60
エコソリューションズ	15,700	▲700	840	▲118	▲50	+8	790	▲110
AVCネットワークス	10,450	▲1,300	600	▲145	▲100	+55	500	▲90
オートモーティブ＆インダストリアルシステムズ	24,700	▲1,700	760	▲410	170	+340	930	▲70
その他	6,300	▲600	120	▲20	▲70	+20	50	-
消去・調整	▲7,950	+1,200	▲220	+7	▲630	▲447	▲850	▲440
連結決算	72,000	▲4,000	3,200	▲650	▲750	-	2,450	▲650
アプライアンス（製販連結）	25,000	▲1,000	1,100	+6	▲70	+24	1,030	+30

Panasonic

Copyright (C) 2016 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

大規模6事業部・テレビ事業部の見通し修正

IFRS

（億円）

	2016年度見通し（2016年10月31日時点）							
	売上高	修正額	調整後営業利益	修正額	その他の損益	修正額	営業利益	修正額
エアコン ＊1	4,585	▲461	297	－	▲22	－	275	－
ライティング	3,190	▲198	252	－	▲9	－	243	－
ハウジングシステム	3,700	－	170	－	▲6	－	164	－
インフォテインメントシステム	4,780	▲281	256	－	▲1	－	255	－
二次電池 ＊2	3,338	▲330	▲138	▲240	123	＋190	▲15	▲50
パナホーム ＊3	3,700	▲300	－	－	－	－	160	▲55
テレビ ＊1	3,034	▲224	53	－	▲22	－	31	－

＊1：販売部門を含む製販連結
＊2：二次電池事業部＋テスラBU
＊3：パナホーム㈱の公表値（日本基準）

1兆円戦略投資の進捗

約7割は投資済・方向付け完了

Copyright (C) 2016 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

期末配当の下限設定について

上期	下期	年間
10円	10円以上	20円以上

Panasonic

Copyright (C) 2016 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

本プレゼンテーションには、パナソニックグループの「将来予想に関する記述」に該当する情報が記載されています。平成29年3月期の連結業績予想は国際財務報告基準（IFRS）に基づき作成しています。本プレゼンテーションにおける記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、かかる将来予想に関する記述に該当します。これら将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされたパナソニックグループの仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、それらの要因による影響を受けるおそれがあります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する記述に明示的または黙示的に示されるパナソニックグループの将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらすおそれがあります。パナソニックグループは、本プレゼンテーションの日付後において、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。投資家の皆様におかれましては、金融商品取引法に基づく今後の提出書類およびその他の当社の行う開示をご参照下さい。

なお、上記のリスク、不確実性およびその他の要因の例としては、次のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、当社の有価証券報告書等にも記載されていますのでご参照下さい。

- 米州、欧州、日本、中国その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費および企業による設備投資の動向
- 多岐にわたる製品・地域市場におけるエレクトロニクス機器および部品に対する産業界や消費者の需要の変動
- ドル、ユーロ、人民元等の対円為替相場の過度な変動により外貨建てで取引される製品・サービスなどのコストおよび価格が影響を受ける可能性
- 資金調達環境の変化等により、パナソニックグループの資金調達コストが増加する可能性
- 急速な技術革新および変わりやすい消費者嗜好に対応し、新製品を価格・技術競争の激しい市場へ遅滞なくかつ低コストで投入することができない可能性
- 他企業との提携または企業買収等で期待どおりの成果を上げられない、または予期しない損失を被る可能性
- パナソニックグループが他企業と提携・協調する事業の動向（BtoB（企業向け）分野における、依存度の高い特定の取引先からの企業努力を上回る価格下落圧力や製品需要の減少等の可能性を含む）
- 多岐にわたる製品分野および地域において競争力を維持することができなくなる可能性
- 製品やサービスに関する何らかの欠陥・瑕疵等により費用負担が生じる可能性
- 第三者の特許その他の知的財産権を使用する上での制約
- 諸外国による現在および将来の貿易・通商規制、労働・生産体制への何らかの規制等（直接・間接を問わない）
- パナソニックグループが保有する有価証券およびその他資産の時価や有形固定資産、のれんなどの長期性資産および繰延税金資産等の評価の変動、その他会計上の方針や規制の変更・強化
- ネットワークを介した不正アクセス等により、当社システムから顧客情報・機密情報が外部流出する、あるいはネットワーク接続製品に脆弱性が発見され、多大な対策費用負担が生じる可能性
- 地震等自然災害の発生、感染症の世界的流行、サプライチェーンの寸断、その他パナソニックグループの事業活動に混乱を与える可能性のある要素

（参考）

主な会計基準差異（損益計算書）

（億円）

	16年度2Q（IFRS）＊1		16年度2Q（米国基準）
売上高	17,650	連結範囲の相違等	17,470
調整後営業利益	872		―
その他の損益	191	開発費資産化等	―
営業利益	1,063		777
営業外損益	2	金利・為替以外の損益	167
税引前利益	1,065		944
法人税等	▲42		▲67
持分法による投資利益	―		23
非支配持分に帰属する当期純利益	64		52
親会社の所有者に帰属する当期純利益	1,043		＊2 982

＊1 非監査

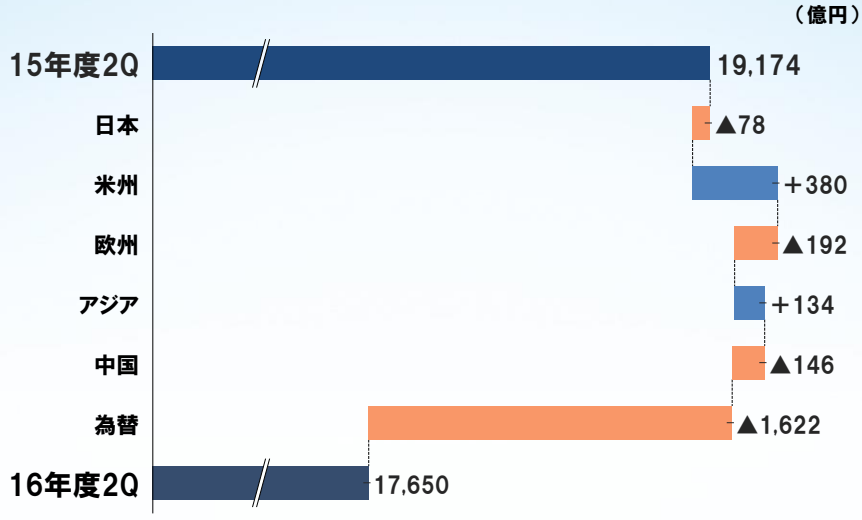
＊2 当社株主に帰属する当期純利益

Copyright (C) 2016 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

（参考）

地域別 売上高増減

IFRS



（参考）

2016年度 第2四半期（累計）連結業績

（億円）

	IFRS（非監査）				米国会計基準			
	16年度 2Q累計	15年度 2Q累計	前年比	差	16年度 2Q累計	15年度 2Q累計	前年比	差
売上高	35,398	38,030	93% (101%)*1	▲2,632	34,955	37,604	93% (101%)*1	▲2,649
調整後営業利益 *2	1,640	2,115	78%	▲475	―	―	―	―
その他の損益	141	▲269	―	＋410	―	―	―	―
営業利益	1,781	1,846	96%	▲65	1,446	2,005	72%	▲559
営業外損益	30	▲23	―	＋53	86	▲364	―	＋450
税引前利益	1,811	1,823	99%	▲12	1,532	1,641	93%	▲109
親会社の所有者に帰属する当期純利益	1,335	1,176	113%	＋159	*3 1,199	*3 1,113	108%	＋86
フリーキャッシュフロー	▲2,287	▲232			▲2,270	▲231		

為替レート			
	1USドル	105円	122円
	1ユーロ	118円	135円
	1人民元	16.0円	19.4円

＊1 為替の影響を除いた実質ベース（非監査）
＊2 IFRSにおいて、売上高から、売上原価と、販売費及び一般管理費を控除して算出した指標
＊3 当社株主に帰属する当期純利益

Copyright (C) 2016 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

（参考）

3事業区分の主な事業領域

高成長事業	車載電池、次世代コックピット、ADAS、航空、食品流通、リフォーム、エイジフリー　など
安定成長事業	エアコン、白物家電、小物家電、セキュリティカメラ、FA、照明器具、電子材料、乾電池、配線器具及びソーラー　など
収益改善事業	テレビ、半導体、液晶パネル、DSC、固定電話・FAX 堅牢PC、住宅建材　など

（参考）

事業部一覧

アプライアンス

エアコンカンパニー
テレビ事業部
ホームエンターテインメント事業部
冷蔵庫事業部
ランドリー・クリーナー事業部
キッチンアプライアンス事業部
ビューティ・リビング事業部
パナソニック サイクルテック㈱
冷熱空調デバイス事業部
スマートエネルギーシステム事業部
コールドチェーン事業部
Hussmann Corporation

AVCネットワークス

イメージングネットワーク事業部
ストレージ事業部
ビジュアルシステム事業部
Panasonic Avionics Corporation
ITプロダクツ事業部
セキュリティシステム事業部
コミュニケーションプロダクツ事業部
オフィスプロダクツ事業部
システムソリューションズジャパンカンパニー

オートモーティブ＆インダストリアルシステムズ

インフォテインメントシステム事業部
車載エレクトロニクス事業部
二次電池事業部
エナジーデバイス事業部
メカトロニクス事業部
パナソニック セミコンダクターソリューションズ㈱
デバイスソリューション事業部
電子材料事業部
パナソニック液晶ディスプレイ㈱
スマートファクトリーソリューション事業部

エコソリューションズ

ライティング事業部
エナジーシステム事業部
ハウジングシステム事業部
パナソニック エコシステムズ㈱

その他

パナホーム㈱

2016年10月31日時点

Copyright (C) 2016 Panasonic Corporation All Rights Reserved.

（参考）

2016年度 売上開示事業の構成

アプライアンス	・エアコン事業	：エアコンカンパニー
	・食品流通事業	：コールドチェーン事業部、Hussmann Corporation
	・スモール・ビルトイン事業	：キッチンアプライアンス事業部、ビューティ・リビング事業部
	・メジャー事業	：冷蔵庫事業部、ランドリー・クリーナー事業部
	・AV事業	：テレビ事業部、ホームエンターテインメント事業部
エコソリューションズ＊1	・ライティング事業部	
	・エナジーシステム事業部	
	・ハウジングシステム事業部	
	・パナソニック エコシステムズ㈱	
AVCネットワークス	・モビリティ事業	：ITプロダクツ事業部、ストレージ事業部
	・映像・イメージング事業	：イメージングネットワーク事業部、ビジュアルシステム事業部、セキュリティシステム事業部
	・コミュニケーション事業	：コミュニケーションプロダクツ事業部、オフィスプロダクツ事業部
	・ソリューション事業	：Panasonic Avionics Corporation、国内/海外ソリューション
オートモーティブ＆インダストリアルシステムズ	・オートモーティブ事業	：インフォテインメントシステム事業部、車載エレクトロニクス事業部
	・エナジー事業	：二次電池事業部、エナジーデバイス事業部
	・インダストリアル事業	：メカトロニクス事業部、パナソニック セミコンダクターソリューションズ㈱、デバイスソリューション事業部、電子材料事業部、パナソニック液晶ディスプレイ㈱
	・ファクトリーソリューション事業	：スマートファクトリーソリューション事業部

＊1 エコソリューションズは、4つの事業部がそれぞれ売上開示事業

Copyright (C) 2016 Panasonic Corporation All Rights Reserved.